

第31回視覚障害リハビリテーション研究発表大会

アンケート結果

開催日 令和5年9月8日(金)~9月10日(日)
開催場所 金沢市商工会議所
アンケート回収数 90票

1. 会員か非会員

項目	票数	割合
① 会員	67	25.6%
② 非会員	23	74.4%
総数	90	100.0%

2. 年齢

項目	票数	割合
① 10代	0	0.0%
② 20代	7	7.8%
③ 30代	10	11.1%
④ 40代	22	24.4%
⑤ 50代	33	36.7%
⑥ 60代	13	14.4%
⑦ 70代	5	5.6%
⑧ 80代以上	0	0.0%
総数	90	100%

3. 居住地

項目	票数	割合
①北海道	0	0.0%
②東北地方	7	7.9%
③関東地方	30	33.7%
④東海地方	9	10.1%
⑤北陸地方	9	10.1%
⑥近畿地方	21	23.6%
⑦中国地方	3	3.3%
⑧四国地方	5	5.6%
⑨九州地方	5	5.6%
総数	89	100.0%

4. 職種

項目	票数	割合
①医療	14	15.6%
②教育	19	21.0%
③福祉	43	47.8%
④その他	14	15.6%
総数	90	100.0%

5. 大会参加回数

項目	票数	割合
①初めて	25	27.8%
②2回～4回	22	24.4%
③5回～9回	23	25.6%
④10回以上	20	22.2%
総数	90	100.0%

6. 研究虎の巻はいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	32	35.6%
②良かった	17	18.9%
③あまり良くなかった	1	1.1%
④全くよくなかった	0	0.0%
⑤参加していない	40	44.4%
総数	90	100.0%

※設問 6「研究虎の巻はいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- とてもわかりやすく、共感できるお話でした。
- このようなお話を聞かせていただき感謝です。
- とても参考になりました。感謝です
- もっと事例報告をしたほうがいい、ということがわかりました。ただ、LVの分野では指導者もなかなか身近にいないので一人で報告(論文)を書くのは難しいです。論文を書くこと自体への後押しや、実際に書くときには内容について指導をしてくださる(または相談に乗ってくださる)方がいるとハードルが下がると思いました。
- わかりやすい発表だった。1事例だと、自分の関心に終始してしまいがちだが、丁寧に、俯瞰して接する視点の大切さを再認識できた。
- 業務に直結するとともに身近なテーマで興味深く勉強させていただきました。ありがとうございました。
- 具体的で日々の業務に役立つ内容なので大変良かったです。
- 研究方法、自身の対応について、客観的にとらえ直す機会になった。
- 今後の参考になる内容だった。
- 視覚障害者のリハビリの肝を学ぶことが出来てとても参考になった。
- 事例研究をやる意味がよくわかった。こんなんでもやれるのと、言うことでも大事なんですね。
- 事例報告でも如何に科学的記述と評価を心がけるかがわかった
- 大変具体的に事例報告の仕方がわかりました。
- 分かりやすい説明であった。

良かった

- 資料が欲しいと思っていましたら、後から送られて来てありがたかったです。どうもありがとうございました。
- 要点が、てきかくでした。

参加していない

- この部分は、録画などして会員に公開してはどうか？もうしている？参加できる人が限られているのだが、参加者には好評なので、もっと多くの会員にも公開するのが望ましいと思う。

7. 自分ごとプロジェクトはいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	34	37.8%
②良かった	12	13.3%
③あまり良くなかった	1	1.1%
④全くよくなかった	0	0.0%
⑤参加していない	43	47.8%
総数	90	100.0%

※設問 7「自分ごとプロジェクトはいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- もう少し少人数でやるか、部屋を分けてやるほうが話しやすかった。
- ロールプレイの事例が実際にいらしやうな設定で、没入できましたし、他の参加者のご意見が、大変参考になりました。
- 業務で接する機会のない乳児の事例だったので、自分の持っている情報量とニーズとの照らし合わせについては学ぶ点が多かった。初対面の参加者と交流できたことも良かった。
- 今まで体験した事例検討は事例を聞き意見交換する形であったため、どこか他人事で上から目線になっていたが、今回なりきることで、自分ごととして心情などより深く考えることができた。
- 参加者どうしのこのようなワークショップは、ぜひに続けてください。
- 私自身は門外漢でしたが、視覚障害者と実際の接点がある当事者と関係者の寸劇を目の当たりにし、とてもリアルで臨場感のある場面に立ち会えた気分になった。
- ”事例が与えられたことだけでなく、自分たちでも考えるというのは面白かった。
- グループワークの時間もたっぷりあってどんどん話やっすくなっていたので、自分の意見も言いやすかった。”
- 事例を通しての話し合いは、現場でのリアルな体験を思い出すことが出来、相談に乗ったときの自分の判断等について、考えさせられました。今後も、このような形で、具体的に勉強できる企画を行ってほしいと思います。
- 実際ありそうなケースの相談方法を演じたり見学したり、検討する時間があったり、定期的に行うと良いと思います。大変勉強になりました。
- 他の方の問答のしかたで、いろいろな気づきがありました。
- 多職種で模擬症例の検討ができたので、それぞれの視点で考えることができたので、よかった。
- 日々の相談業務を見直すきっかけになりました。ありがとうございました。
- 班ごとにケース症例を2つからの選択制で行ったが、相談対応者が事前に見た情報が頭にあり、その部分を聞かずに話を進めてしまった。もしかしたら、当事者のみが症例を見て、役作りをしても良かったのかもしれないと思いました。
- 面白い企画でした。他職種の方の面談をきく機会はほとんどないので勉強になった。相談(にのる)者の役だったが、相談者の職種や相談場所の設定まで必要だったが、自分の職種と違う設定は難しかった。多職種の方が面談を行うときにどのように考えているのかは非常に興味深かった。他の参加者も同様のようでした。

良かった

- グループによっては時間が長く感じたかもしれないです。
- 当事者役、相談者役にならなかった人は、発言機会も少なかつたでしょうし。ちなみに私は当事者役でもあり、考えながら言葉をつむいでいけました。
- ケア役は複数人でいいとして、患者役を複数人にするねらいがわからなかった。
- とても楽しく良い体験ができました。進め方や内容についてが十分に理解できないままだったため、もう少し説明をわかりやすくして欲しかったです。相談を受ける側がどういった立場なのかによって変わってくるため、その設定も明確になるとよかったと思います。
- とても良かったがあまりに疲れすぎて他の方の発表がちゃんと聞けなかったので、発表用のフォーム入力した内容を参加者に共有してもらえるとありがたいです。
- 自分ごとプロジェクトに初めて参加させていただきました。おおまかな
- 多職種の方の意見も聞くことができ、今後の相談業務に活かしていきたいです。

- 役割を、演じることで理解が深まった。
あまり良くなかった
- やることがグループ内であまり理解できず、話し合う内容が絞れない感じになってしまった。

8. 口頭発表はいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	28	31.5%
②良かった	47	52.8%
③あまり良くなかった	3	3.4%
④全くよくなかった	0	0.0%
⑤参加していない	11	12.3%
総数	89	100.0%

※設問 8「口頭発表はいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- 教育、医療、福祉と色々な分野からの発表で、あまり知らない分野を知ることができる良い機会でした。
- 現状がよく分かってよかった
- 新しい知識を得ることができて、有意義でした。
- 発表が複数の場所で動じ進行していなくて一カ所だったのが良かった。
- 様々な切り口で視覚障害者を取り巻く環境や課題を気付かせてくれる機会となった。

良かった

- もう少し発表件数が多いと盛り上がると思います。
- 興味深い発表があったので
- 研究発表としての質が向上したと感じた。もう少し発表件数が増えるようになると良いと感じた。
- 若い人たちの発表もあり、新鮮で良かったです。若い人もそうでない人も発声の聴きにくい人もおり、そこがなんとも残念、司会者から、「発声を明瞭に、音量は大きめに参加者にしっかり伝わるようお願いします」というアナウンスを入れていただきたい。また、事前にも登壇者に対し、このことは、しっかり伝達していただきますようお願いいたします。
- 発表数が少ないようだったが、自分の中では内容を消化しきれ数だった。

あまり良くなかった

- スライドが一般の眼科学会よりも視覚障害や色覚に配慮のないものが多かった。

9. 高校生たちの取り組みはいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	43	47.8%
②良かった	31	34.4%
③あまり良くなかった	2	2.2%
④全くよくなかった	0	0.0%
⑤参加していない	14	15.6%
総数	90	100.0%

※設問 9「高校生たちの取り組みはいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- ぶれいりーずの活動が特によかった
- 課題を与えてここまで形にした松井先生にもお疲れ様と言わせてもらいます
- 興味深い企画だった。リハ大会は、支援する側主導で開催されるものという認識を覆し、高校生がコード化点字ブロックをはじめ視覚障害に関心を持ってくれたという現実がとてうれしかった。さらに、小汲さんの発表は、「このような現実がある」ことに驚き、彼女らの活動がものすごく考えられていることに無力感を味わった。
- 高校生の時に、視覚リハに関わる機会があれば、大学、社会に出てから関心の持ち方が変わるので良い機会でした。桜美林大学の彼女について、応援してます。医学部の彼女は、是非、眼科に進んでほしいです。
- 高校生や大学生と言った若い世代の発表やボランティアとしての参加が素晴らしかった。
- 今までの大会ではなかったものでとてもよかったです。
- 今後もぜひ頑張ってもらいたいと思った
- 視覚障害者や点字ブロックに関心をもって研究してくれていることに感動した。
- 若い高校生が視覚障害者に興味を持ち、生活が豊かになる道具をアイデア等で発表し、作ろうとしてくれている姿勢にうれしくなりました。自分にも子供がいますが、どのようにすればあのような素敵な子どもに育つか気になりました。
- 若い視点と感想がとても新鮮でした。
- 若い人の参加は新鮮で、明るい気持ちになれました。
- 若い世代から視覚障害に触れることができるのは本当に良いことだと思いました。これからも続いていけると良いですね。
- 若い世代が興味を持ってくれていることを知れてよかった
- 若い世代の方にこうした機会にご参加頂く事で、少しでも次世代に視覚リハが浸透すると良いと思いました。
- 若い方たちが色々な研究をされていて、未来は明るいと感じ、同時にとても嬉しく思った。
- 若い力を評価することは今後につながる。
- 若者に元気をもらいました。歯がゆい思いをする若者が続かないよう、私たちにはなにができるのか？を考えさせられました。若者が自分で解決していく必要はありますが、おじさんおばさん(年長者)にも頼ってほしいし、頼られたら適切なアドバイスや応援ができるようにありたいと思いました。素敵な企画をありがとうございます。
- 障害観や多様性の理解については、小学校などもっと早い時期から取り組む必要があると思っています。

良かった

- 若いうちから障害のある人の生活について思いをはせ、動いていく経験はこれからの人生にもプラスになることと思います。私たちも健常者の高校生がどのような風を感じ、考えるのかは興味深かったです。
- 一生懸命さが伝わり、今後も継続して関わってもらいたい。
- 若い人たちが障害者に対して感心を持って研究してくださり、嬉しく思いました。今後も継続してもらえたら、ありがたいです。
- 障害の有無に関係なく、この年代の人たちの関わりは必要ですね。特にブレイリーズの方の話はよかった。これからの社会を担う若者の意見は必要です。

- 対面学会でしたので、来られている学校分だけでよかったのではないかと感じました。動画発表者には質問もできませんし、時間が冗長に感じました。
- 登壇者はとても緊張しており、初々しさが伝わって来たが、皆さんが視覚障害者の生きづらさを真剣に捉え、それぞれの改善策を探求する姿に心を打たれた。
- 聞く側にも新鮮。懇親会で高校生が話していたが、「立派な発表を聞いて、自分たちの発表で良かったのか」と思っていたという感想は彼らの今後のプラスになったと思う。高校生でこのような研究大会に参加してくれたことに感謝。

あまり良くなかった

- 高校生の取組みを聞いたのは大変良かったが、コード化点字ブロックだけに焦点を当てたことが残念だった。視覚リハ全般に当てはまる内容にすべきでした。

参加していない

- 自分の企画の準備等があり、参加していない。

10. ポスター発表はいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	32	36.0%
②良かった	49	55.0%
③あまり良くなかった	3	3.4%
④全くよくなかった	0	0.0%
⑤参加していない	5	5.6%
総数	89	100.0%

※設問 10「ポスター発表はいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- とても興味深いものがたくさんありましたが、たくさんありすぎて回りきれなかったことが残念です。
- ポスター発表の件数が少なかったのが残念でした。
- 意見交換が活発でした。
- 興味のあるテーマが多かったので、1時間では回りきることはできなかった。
- 興味深い発表があった
- 数が多くなかったので、回りやすかった。内容的にも、説明を丁寧にしていただけて理解しやすかった。
- 歩行支援機器に関する研究や触察の研究がよかった
- 様々なテーマを勉強でき、実際に質問することができて良かったです。
- 和気あいあいとしていて、質問しやすい環境だったと思います。

良かった

- いろんな分野からの発表で良かった。
- コンパクトにまとまっていて、部屋の大きさもちょうど良かったです。最終日はお昼休みと合わせた枠ではないため、全てお話を伺うには1時間では時間が足りませんでした。
- パネル間隔が狭く全部をゆっくり見聞きしにくかった。
- もう少しじっくり回りたかったです。堀内さんの発表、訓練士が少なすぎるという現実、本当にどうにかしていきたいものです。訓練士、視覚リハ関係者からの社会への啓発と発信、ガンガンいきましょう。視覚障害の私も発信に力をいれなければと思いました。
- もう少し見られる時間が長いと良かった。
- もう少し発表件数が多いと盛り上がると思います。
- 会場が狭く、ポスターとポスターの間隔が狭かったので、各発表者の話を十分に聞くことが出来なかったのが残念でした。会場を借りるお金の問題もあると考えますが、もう少し広に会場が必要だと思います。
- 会場に座る椅子があり、良かった。
- 会場の広さとしてはやや密ではあったが、適当ではないか。
- 興味のある発表がたくさんあり、時間が足りませんでした。
- 今回は発表者との意見交換もさせていただきよく理解できた。
- 混雑のために時間内に発表者と意見交換は遠慮せざるを得なかったのは残念だった。
- 場所が狭くて混み合っていたのがちょっと残念
- 大変に多くの方が興味深げに質疑を交わされており、ポスターという題材を介してとても深いコミュニケーションが生まれていることに感動した。
- 内容は良かったと思うが、込み合いすぎて、話を聞きたいところで聞けなかったのが残念だった。

あまり良くなかった

- 少し会場が狭かったため、話しにくかった。

11. 指定報告はいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	34	38.2%
②良かった	39	43.8%
③あまり良くなかった	3	3.4%
④全くよくなかった	0	0.0%
⑤参加していない	13	14.6%
総数	89	100.0%

※設問 11「指定報告はいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- (8)に同じ
- 3つの発表とも興味深く、視覚障害リハビリテーションにある意味危機感を持つ必要性を感じた。
- 指定報告はそれぞれの発表が経験や知識的なことも含めて深い内容で、勉強になった。
- 大変良かったですが、もう少し時間があつたらと思いました。
- 内容が幅広かったので、時間がもう少しある方がよかった。
- 発表者の皆さま方が入念に準備された最新の情報を踏まえて力強く訴える姿に大いに感心させられた。

良かった

- 1題1題が短すぎて、不完全燃焼だった。もう少し時間を取って掘り下げられるようにした方が良いと思った。
- 古橋様の踏切における安全対策のお話がとても良かったです。
- 盛りだくさんで消化できてない感じです。しかし、とても大事なことなので、時間をもう少しかけたかった。
- 良かったが時間が足りないと感じた。

あまり良くなかった

- ”それぞれの内容はとても良かったが、視覚リハに関わる全体(医療・教育・福祉等)を網羅する内容にすべき(医療関係演題が薄かった)。
- 座長の気分でプログラム変更と時間超過などあり得ません。”
- 発表時間を守りましょう。また中野先生のお話はしっかり時間が必要だったと思います。

12. 北陸3県のスマートサイトの動向はいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	25	27.8%
②良かった	37	41.1%
③あまり良くなかった	3	3.3%
④全くよくなかった	0	0.0%
⑤参加していない	25	27.8%
総数	90	100.0%

※設問 12「北陸3県のスマートサイトの動向はいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- 各県のスマートサイトの活用実績はほとんど報告がありません。ぜひ各県とも、論文にしてください。みんなで実績や課題を共有し、ロービジョンケアにおける「医療からの情報提供」の未来について考えましょう！ スマートサイトはもっともっと医療者が認知し、活用しなければならないと思います。ロービジョンケアに詳しくない医療者に、もっと気軽にお手軽に、患者さんに渡してほしいですが、まだまだ情報にたどり着けていない患者さんが多くいることを感じています。情報提供には、医療者が渡すスマートサイトもまだまだ頑張らないといけません、「無関心」な医療者がいることも確かであり、マスコミ報道、行政からの配付、民生委員からの声掛けなど、多角的な戦略は必要だと感じています。多職種の知恵が必要だと思います。
- 各都道府県でスマートサイトの運営主体が異なり、我が県での今後の運営に参考にします
- 最初の1件のみしかきけませんでした。スマートサイトの実践がどのように行われているのかを理解するのにとても有用でした。
- 他県の取り組み状況がよく分かり参考になった。
- 勉強になった。
- 北陸3県の特徴が出ていて興味深いものでした。
- 北陸のスマートサイトの様子は見られることは貴重なことであった。

良かった

- 香川でのスマートサイト活用の勉強になった
- 最後に演者間でのディスカッションができるとよかったかも？と思いました。
- 少し聞き慣れた内容だった。2年前なら良かったかも。。。

あまり良くなかった

- 各県で体制が違うことは理解しました。それぞれの課題について意見交換が必要だったのではないのでしょうか？
- 時間通り開催されなかった

参加していない

- 自分の企画の準備がありさなかできなかった。

13. 分科会に関していずれの分科会に参加されましたか？(複数回答可)

項目	票数
①高齢リハ	17
②OM&情報アクセス分科会	35
③レク	22
④参加していない	32

※設問 13「分科会に関して」の分科会別に自由記述を抜粋

高齢リハ

- 1時間では無理があると思います。制限された時間でしかも3回もグループを替えて、その都度何を語ればよいのかとても戸惑いました。いきなり名刺交換するグループもありましたが、個々に挨拶するのはメンバーそれぞれの抱えている何かしらの思いすら見えず、時間がもったいないと思いました。
- まずは顔馴染みになる！ってことで、その後の懇親会もあり、良かったです。ありがとうございました。
- 時間が足りなかった。2時間はほしかった。
- 時間的に顔合わせ程度であったが有意義な時間を過ごせました。
- 分科会の皆さんと交流できて良かったです。

OM&情報アクセス分科会

- アプリに頼る以前に、正しい白杖の使い方習得が大事という言葉は説得力があった。
- 今回は歩行環境の知識的なことについて勉強になりました。
- 視覚リハ分科企画の詳細がHP上で示されない中、高齢リハ分科会の受付が始まっており、既に定員になっていたことだけが残念でした。OM&情報アクセス分科会の内容自体は良かったと思います。
- 自分も歩行環境の検証や改善などに携わりたいと感じた
- 大変良かった。討論の時間もゆっくり欲しかった。
- 分科会は同時開始の他の分科会に参加したいことがあります。希望者のみ録画を視聴できないでしょうか。

レク

- レク分科会、あれもこれも参加したかったです。
- 初日のレク分科会の前に、一度明日の体制にみんなで机椅子を移動した直後、レク分科会の配置に、再度机椅子のセッティングをし直す場面がありました。レク分科会は当事者スタッフが多いので、本体も把握して連携・配慮できれば良いのではないかと感じました。
- レク企画が、純粋に楽しかったです。ありがとうございました。
- プログラム終了後机を並べ替えずにすぐレクができる並べ方にするほうがスムーズにできたと思う。終了後司会所のほうで設営の協力アナウンスの前にレクへの参加呼びかけをしてほしかったです。机を設営後返ってしまわれた方も多いのではと思います。
- レクはとても面白かったです。患者さんたちともやってみたいし、支援者でもやってみたいです。楽しいことは必要ですね。また、石川さんの「はじめてのことをみんなでやってハードルを下げる」ということには大いに共感しました。

参加していない

- 参加をしたかったのですが、よくわからずに参加することができませんでした。
- 事前申し込みにあぶれ、他方は行かなかった。

14. パネルディスカッションはいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	22	24.7%
②良かった	38	42.7%
③あまり良くなかった	1	1.1%
④全くよくなかった	0	0.0%
⑤参加していない	28	31.5%
総数	89	100.0%

※設問 14「パネルディスカッションはいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- パネラーがしている活動が興味深かった
- 急遽パネリストが 2 名参加できなくなったと聞きましたが、オンラインなど活用して臨機応変に対応され、中身の濃いパネルディスカッションでした。ありがとうございました。
- 実際に PC を使っているところを見たかった
- 大変良かった。

良かった

- どうしてもパネルディスカッションは、パネリストのディスカッションの時間が少なくなってしまう。
- どの業務を切り出して職場復帰するか、事例もあってわかりやすかった。
- 視覚障害者の就労に関して、多くの行政関係者が参加し話を聞いてほしいと感じた。
- 就労支援には文書作成等で眼科も関わることもあるので、眼科医の立場で話せる人がいるとさらによいかも？と思いました。

15. ランチョンセミナーはいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	27	30.0%
②良かった	26	28.9%
③あまり良くなかった	2	2.2%
④全くよくなかった	0	0.0%
⑤参加していない	35	38.9%
総数	90	100.0%

※設問 15「ランチョンセミナーはいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- お弁当の手配、ありがとうございました。スポンサー探しも大変だったのではないかと思います。
- 若い人たちの活動を応援したいと思いました。
- 語ってくれたパネリストの方にお礼申し上げます。
- 若い当事者さんの声。貴重。
- 地域でも障害者協会の参加者の年齢層が高く、集まってもデイサービスのようになってしまうっており、若い当事者が参加しにくくて困っている。地域や疾患に関係なく、若い当事者が集まれる場があればいいと思った。
- 当事者の方々の実際の経験や考えを聞かせていただきとても勉強になりました。
- 当事者団体として日視連に期待することが多いが、歴史の長さゆえに若い世代との隔たりが大きい現実を知り、危機感を持った。
- 率直な意見を聴けてよかった

良かった

- JRPS ユースのお話はわかりやすかったです。あとのふたつは、活動内容や実績について、もう少し具体的に知りたかったです。
- それぞれの団体での取り組みが良く理解できた。
- 簡単につまめるサンドイッチのようなものでも良さそうです。

あまり良くなかった

- 一人一人の時間が長く、食事中でもあり、一つ一つの時間を短くして、テンポよく進めたほうが良かったのではないかと。
- 若い世代の生の声が聞けて大変良かった。座長の思いつきの進行はあり得ません。登壇者・参加者それぞれの貴重な時間です。不愉快でした。お弁当の提供があることを当日の朝、アナウンスで伝えるのでは遅すぎます(昼食持って行ってきました)。

16. インクルーシブ？座談会はいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	15	16.9%
②良かった	31	34.8%
③あまり良くなかった	9	10.1%
④全くよくなかった	1	1.1%
⑤参加していない	33	37.1%
総数	89	100.0%

※設問 16「インクルーシブ？座談会はいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- 社会の厳しさを痛感しました。まだまだ障害者、女性に対して厳しいですね。

良かった

- あうわの林さんの生き方、行動力が素晴らしく、感激しました。
- 楽しそうな座談会でした。時間が長くなって残念。
- 今回のテーマが凝縮されていた。
- 時間が長い。
- 当事者の視点、意見が勉強になりました。
- 聞き手が少し話し過ぎなのが気になった
- 話したいことが溢れているのは承知しているけれども、タイムキーピングはもう少し意識されるとよいかと思った。

あまり良くなかった

- ”ご準備はされていたと思いますが、質問と回答についてだらだらした雰囲気があり、聞いているとちょっとしんどい、だれる感じがありました。伝えたいポイントに対する確かなこたえやコメントをある程度準備されたうえで、アドリブが入ってもりあがるというような準備はされていなかったように感じました。特別トーク慣れしていなくても、伝えたいポイントをきちんと伝えていただけるようなトークのご準備があれば
- テーマはよいだけに、もっとよかったと推察します 話の流れや進め方は準備されていたようですが、3名の方のトークの流れがややふらふらしていて、きいていてしんどくなりました。伝えたいことがあったと思いますので、そこだけもったいなかったです。でも、座談という形をセレクトされていたことはとてもよいと感じています。ありがとうございました。”
- すこし間延びした感じがあった。時間管理がうまくできていなかった。
- 聞き手の主張が強かった。最後の一言をもらってからそれに対する意見は不要ではないか。リハ協への要望？期待？不満？のように聞こえた。
- ”聞き手の方は意見を言わずに、話し手のお二人のお話を引き出して欲しかったです。
- 聞き手の方の想いではなく、あうわの活動についてやその効果、それに対しての和田会長の意見などが聞きたかったと思いました。
- 時間のオーバーに関しても、進行に問題があったように感じました。
- いろいろ気になって、話の内容が頭に入ってきてませんでした。”

話が長かった。

全くよくなかった

- 司会者が自分の意見をしゃべりすぎで時間超過までしていました。

参加していない

- 相談事があり、参加しなかった。

17. 災害対策委員会からの訴えはいかがでしたか？

項目	票数	割合
①大変良かった	15	16.7%
②良かった	22	24.4%
③あまり良くなかった	0	0.0%
④全くよくなかった	0	0.0%
⑤参加していない	53	58.9%
総数	90	100.0%

※設問 17「災害対策委員会からの訴えはいかがでしたか？」の満足度別に自由記述を抜粋

大変良かった

- ぜひ、他人ごとではなく自分ごとにとらえてほしい。
- 今年の災害でも近隣の視覚障害者にも当院にも各地から安否伺いの声をいただき、心強い限りでした。感謝の気持ちとともに、やはり安否確認は大事だなと思いました。眼科医会で災害対策マニュアルを完成させ、視覚障害者関連の部分も充実させたつもりですが実際にリスト化、リスト提供は難しいという声も医療機関から多くあります。特に大きな病院です。災害に遭ったことがない地域ではなおさらです。「絵にかいた餅」にならないようにするにはどのようにしたらいいのでしょうか。
- 災害発生時にできるだけ支援に行けるようにしたいと思いました。

良かった

- ひとごとではいけない、と感じた。
- 災害に関しては、大切なことを何度も繰り返してということがいつも大事であると感じます。
- 短い時間を旨く利用して、アビール出来たと思うが、もう少し時間が欲しかった。
- 毎年のように災害が起こる昨今、何度でも訴えるべき内容だと思えます。

参加していない

- 参加するつもりだったが前の公演が長引き参加できなかった。

18. コード化点字ブロックツアーに参加されましたか？

項目	票数	割合
①参加した	23	26.4%
②参加していない	64	73.6%
総数	87	100%

参加した

- ツアーコンダクターとして説明できたのはよかった。
- 休日の繁華街を多くのツアー参加者が通路を遮ったカチチとなってしまう、他の一般通行者に迷惑を掛けているのではないかと気になった。また、実際に街中に設置されたコード化点字ブロックを見て、アプリ操作で実体験できたことは貴重な体験となった。
- 金沢など、特定の場所だけではなく、日本中の繁華街や、視覚障害者などがよく行く場所にあったら便利だなと思いました。
- 実際に街を歩きながら体験できたのでよかった。
- 実際に体験できて良かった
- 同行者のアプリがうまく動かなかった。なぜでしょう。「未登録です」と出るばかりで。アプリを入れなおしても同じでした。

参加していない

- そんなツアー企画ありましたか？
- 最終日にしてもよかったのでは？
- 参加したかったが暑かったので残念ながら見送りました

19. 市内でコード化点字ブロックを体験されましたか？

項目	票数	割合
①参加した	45	50.6%
②参加していない	44	49.6%
総数	89	100.0%

参加した

- 6×6の警告ブロックへ施されたコード化点字ブロックや、警告ブロックを枯葉やゴミが覆った状態ではアプリがなかなか反応しないことが判った。
- ツアーではなかったが、アプリをダウンロードして自分で試してみました。
- とにかく暑かったです。でも、道案内や周りの建物案内がとてもわかりやすくて良かったです。晴眼者に確認してもらいながら歩きましたが、方向や建物の名前がバッチリでした。
- 以前にほかの場所(神戸)で体験したものより、テキストの内容がわかりやすくよかったです。
- 音声がうまくできなかったが、体験できました
- 黒い印ばかりでなく、白い印もあり、点字ブロックの意味を知らない人にとっても、「これなんだろう？」と意識できるのは面白い。
- 多くの場所で案内があり良いと思いましたがスマホを持って歩くのは片手がふさがるので困ると思いました。他にもアプリがあり、どこでどのアプリを使うかの判断が難しいと思いました。
- 尾山神社付近、工芸館あたりで試すも、反応が悪く、試せず。ホテルについてアプリを開いたらテキストが出てきていたりしました。時間待ったりもしましたがよくわかりませんでした。あとは観光客向けにも行うならば周知は大切な気がしました。
- 立ち止まらないと反応しない、進行方向に沿って情報提供されるのはよい。将来的に外国人や観光客にも情報提供するのは、利便性や普及を進めるにはよいと思う。一方で点字ブロック付近に人だかりができないか懸念する。

参加していない

- 全体の時間を使ってなぜこのプログラムをしたのでしょうか？機器展や口頭発表くらいな内容だと思います。他にも同様の支援機器はあるのになぜこれだけ特別視されるのでしょうか？視覚リハ協会としてこれを凄く推進していくつもりでしょうか？安全性が高いとおっしゃっていましたが、他の支援機器と大差ないと感じます。大会プログラムメインとするにはそれなりの根拠が必要だと思います。公平性を欠いており不信感を抱きました。

20. 大会全体を通してお気づきになられた点がございましたらご記入ください。

- 医療・福祉・教育などの様々な職種が集まり情報共有や意見交換ができるのが、この大会の魅力だと思っていました。今回の大会はコード化点字ブロックに焦点を当てていたため、興味のない人達は参加しなかったと思います。大会長の私物化のような印象でした。
- 発表会や質問者の所属や敬称などを言わない指示がありました。何の目的だったのでしょうか？大変分かりにくかったです。大会プログラムに抄録集のページ番号の記載とタイムテーブル・館内地図などがなく大変見にくかった。また座長の気分でプログラムを変更することや時間を気にしない進行などあり得ません。座長は誰が選出したのでしょうか？この大会(協会)の信頼に関わることで、今後の改善を求めます。辛辣な事を書きましたが、実行委員や理事の皆様の努力があって開催していただけたこと、感謝申し上げます。
- 荷物を預けられるクロークがあった方がよい。
- プログラムのスケジュールを組む際に、なぜ、セッションとセッションの間に、5-10分程度のバッファ(空き時間)をとらないのでしょうか？演者や座長の変更のため、必要かと思います。また、そのようなバッファが無いと、セッションの冒頭は人の移動や会話など騒然とした中で演者や座長が話さなくてはなりません。次回の大会以降は、セッションとセッションの間に適当なバッファをとることを提案します。
- 「演者は所属を名乗らないように」とのアナウンスが運営側からありましたが、その意図がよく分かりません。抄録・発表スライドには演者の抄録が記載されております。また、所属を名乗ることは、演者が自分の発言に責任を持つことを意味していると考えます。所属を名乗らないことは、長い目で見た場合、大会全体の質を落とし、この大会に変な(異様な)文化を根付かせることになると思います。そのため、所属を名乗らないことには反対です。”
- これまで視覚障害者の世界から遠い位置で生活を送っていたが、小さな事ではめげることなく、逞しく生きている多くの視覚障害者の存在を知り、今後は積極的に関わっていきたいと感じた。ありがとうございました。
- さまざまに工夫された大会で、参加した時間は短かったが、いろいろと勉強になり、大変堪能できた。また、金沢という場所は、街自体の魅力が高く、街全体のホスピタリティが高いという開催場所の魅力というのを感じた。
- たくさん刺激をいただきました。また新たに頑張ろうと思いました。大会スタッフの皆様方、お疲れさまでした。お世話になりました。
- とても内容が濃く素晴らしい会でした。懇親会の形式が、たくさんの方が参加できて良かったです。運営の方々、大変お疲れ様でした。
- プログラムが最終日の午後までしっかり組まれていたので帰りの時間など考えると全て参加できない方がたくさんいたのではないのでしょうか。運営に関わったスタッフの皆様、事前、当日準備その他お疲れ様でした。お天気にも恵まれ、対面での開催、とても良かったです。ありがとうございました。
- プログラム間の休憩時間がなかった
- ホームページだけでなく、メールでも最低限のことは知らせてほしい。
- ポスター発表は興味のあるテーマが多かった。発表者と話せる時間を増やしてほしい。
- ポスター発表を行ったが、ポスター掲示時間の告知が確保されておらず、ポスター掲示のためメイン会場への参加に遅れるなど支障があった。来年からは、開会前にポスター掲示を行えるよう1時間程度時間を確保してほしい。
- メインプロジェクトの色調整がかなりずれていたため、黄色が緑色に表示されていました。点字ブロックの色の発表も「黄色が分からなく」なっていました。発表者はパソコンの画面を見ているので気づいていない方が多かったと思いますが、2日目午後は参加セッションを決めて途中で帰る人が増えますので、どこかで伸びたとしても最後を合わせたらよいのではなく、途中もできるだけ調整してほしいと思います。
- リアルでつながり、心の通い合える大会だったと思います。
- 運営の皆様、お疲れさまでした！ご準備本当に大変だったと思いますが、大変良い会に参加できて感謝です。
- 会場が1箇所でしたので、利便性が大変よく助かりました。

- 会場がきれいでコンパクトで、移動などもしやすく、個人的にとても心地よく参加できた大会でした。特に初日の昼時間がたっぷりとられていて、外出や機器展示、コード化点ブロッツァーなど、各自選択して焦らず時間を過ごせたのが良かったです。様々な暖かい心配りを感じました。
- 3日目は日曜日でもあり、遠方からの参加者も無理なく最後まで参加できるよう、もう少し早く終了しても良いかもしれないと思いました。実行委員の皆様、ありがとうございました。
- 会場は動きやすく良かったです。しかし冷房が効きすぎて寒かった。日にちについては3日間は長いと思います。参加したくても仕事の休みが取りにくいです。できればオンデマンド配信を検討してほしいです。
- 皆様大変お疲れ様でした。参加して良かったです。ありがとうございました。会場内にも学生さんのボランティアさんが少しいても良かったかなあとと思いました。アンケートに「どちらでもない」という項目があると良いのではないかと思いました。
- 学びのある楽しい大会でした。ありがとうございました。
- 機器展示だけ参加させていただきましたが、なかなか見ることのできない機器がたくさんあり勉強になりました。
- 機器展示会のみ参加した。企業数は少なかったがその分ゆっくりと話が聞けたのがよかった。
- 貴重な機会でした、ありがとうございました
- 研究者・視覚障害者・技術開発企業のマッチングを支援する取り組みがあれば良いと思います。
- 限られたスペース、人員でのやりくり大変だったことと思います。1000円の懇親会ではあっても、開いていただき交流ができました。会場入って左手に上り階段があること、入り口からみて右手屋にトイレ、それくらいでも、事前情報があると更にありがたかったです。スタッフの方や参加者の方のお声かけ、たくさんいただき感謝です。
- 公の大会なので時間は守るべきだと思います。内容はよかったのですが、時間が守られなさすぎだったと思います。前のものが押して時間が短くなった発表がいくつもあったと思います。
- 今回の大会は当事者さんのお話が多くあり、とても熱い大会だったと感じた。また、金沢市さんの挨拶等もあり、行政の方がこの大会のことや視覚リハに関心を持ってくださっているのはとても大きなことで心強いと感じた。ありがとうございました。
- 今回久しぶりに集合形式の大会参加でしたが、皆さんと顔を合わせたの会話が出来てよかったです。また機器展示は地方で開催されることも少なく、情報収集出来ました。
- 懇親会で立食パーティーをしたというのは本当か。もしそうなら視覚障がい者の参加者がこんなにいるのに、そのような不便な形式にするのは賢くない。
- 参加証発送の際の封筒に点字での表記が欲しかった。中に入っていたお手紙も墨字だったので、視覚障害者で一人暮らしのためすぐに確認できなかったです。
- 視覚障害の人への配慮が少なかったと思います。入り口は教えてくれても、その先の案内がなかったため、単独では部屋に入る気持ちになれませんでした。
- ミニ懇親会での飲み物や食べ物の手渡しや取り分けなどがなか、なにがあるかもわかりませんでした。
- 部屋に入り、入り口付近で立ち尽くすと立ち止まらずに奥に入ってくださいとのアナウンス。
- 奥ってどこでしょうか。構造もわからず、どうしたらよいかわかりませんでした。
- 機器展示も、どこに何があるかの案内がなく、ブースでもお忙しいためだとは思いますが、声をかけていただけないと何があるかわからずに残念でした。
- 付き添い必須ということなのかもしれませんが、そのようにアナウンスした方が良いかと思います”
- 自分事プロジェクトの後、分科会後の準備が入って17時開始だと判断していました。余暇活動分科会は17時開始とプログラムにありました。でも開始時刻になってから余暇の準備がはじまりました。予定外のレイアウトとなり、分科会スタッフさんが困っておられました。結果17時15分開始となり、30分も間があいてしまったため、会場からはなれていく方もありました。各プログラムの後は次のプログラムの準備に入って時間とおりに開始するというのは当たり前のことだと考えます。翌日の準備として自分ごとの後、机やイスをがたがた動かしておられました。それは分科会終了後にやるべきことではなかったのでしょうか。残ったメンバーで明日の準備をするということ、参加者優先で、次への準備は終わってからというご判断がなぜされなかったのか、あの場にいた何名もが感じていました。前のプログラムの終了後は次のプログラム準備にあていただき、スムーズにプログラムが進むようにお願いします。大きく会場レイアウトが変更になるとしても、それは翌日の準備です。

翌日の準備は最終プログラム終了後にお願いしますどのプログラムもその時間に開始、それまでに準備というスタンスではないのでしょうか。東京大会では参加される方を第一にしたご判断をどうかよろしくお願いします。

- 実行委員の皆様、お疲れさまでした。事務局長の中村さんの良さもあり、悪さもあり、温かみを感じる大会でした。大会長の松井さんの大らかな部分がそれを融合させたのではと思います。会場の問題ですが、メイン会場の扉の開閉時の音は少し気になりました。実行委員が扉の横に待機し、配慮されていたことに感謝します。金沢の町をゆっくり散策できませんでした。今度はゆっくり訪れたいと思います。素敵な街ですね、金沢。
- 出席者としてお手伝いできればよかったのですが今回はお役に立てずそれが心残りです。が、実行委員のみなさま、ボランティアさんのおかげで細部まで配慮され、充実した大会になったと思います。本当にありがとうございました。
- 準備が大変だったと思います。どうもありがとうございました。
- 初めて参加しましたが、9月8日のところで「申し込みは締め切りました。当日受付はありません」とありましたのでつきり9日10日も参加は無理なんだと一旦諦めました。問い合わせフォームで問い合わせをしようと思い記入後送信しようとしたところ送信ボタンが表示されなくてあきらめました。でも最後の手段として知り合いにお聞きしたところ、9日10日については申し込みしなくても当日受付しますという事で参加できました。ようやく理解したのは、8日の企画と9日10日の企画は別物なんだろうということでした。そのため大会長の挨拶が9日になっていたのだと気付きました。これまでのやり方を踏襲されているのだと思いますが、慣れている人はともかく初めて参加する者にとって分かりにくいので、今後対応していただければと思います。ちなみにこの大会の事を知ったのは、8月に入ってからでした。大会の内容には大変満足しました。
- 初めて参加しましたが、視覚障害者のQOL向上にたくさんの人達が関わって下さっていて、感動しました。金沢で得た人と人とのつながりや、知識を大切にこれからの自分の活動に生かせるようにしたいと思いました。
- 人が多く、特に視覚障害者にはだれが参加しているのか分からないので、できれば申込時に承諾を得られた方だけでもいいので名簿を配布していただくと知人に声をかけたりなどできるので助かります。
- 昔に比べて進行が時間通りに動いているのが良い。ランチョンも温かい弁当で良かった。
- 全体を通して熱気が感じられる大会だったと思います。ありがとうございました。
- 全体的に時間にルーズな印象がありました。またセクションのテーマがあまり明確ではなかった気がします。印象に残る講演がなかったのが残念です。アットホームな学会と認識していますが、皆さんが集い交流することが目的になってしまい、課題や取り組むべきテーマが見えにくい学会になっている印象をもちました。
- 大会の準備、運営等有難うございます。大変勉強になりました。金沢の町も堪能できました。たくさん「本音」も聞けて、対面の会の良さが存分に発揮されたと思いました。
- 大会は楽しく参加しました。実行委員の皆様、ありがとうございました。
- 大会事務局の皆様にご感謝申し上げます。対面開催の良さ、懇親会の良さを改めて実感いたしました。一つ気になったこととしては、来賓の方の事情があるとお察しいたしますが、会の流れとしては開会式は口頭発表の前の方が、よいのではないのでしょうか。
- 大会実行委員会および関係者の皆様のご尽力で大会が開催され、そこに参加できたことに大変感謝申し上げます。個人的には北陸地方が初訪問でしたので楽しめました。一つ残念だったのが帰りの便の時間の関係で最後まで参加できなかったことです。良ければ1日目の散策(観光)の時間(助成金等の関係でプログラムに入れなければいけなかったかもしれませんが)を最後にしていただけたとよかったです。
- 大変勉強になる機会となりました。会場も広々とされており、多くな方のお話を聞くことができました。またぜひ参加したいと思いました。ありがとうございました。
- 単独で参加している当事者が、休憩時やポスター・機器展会場への移動するにあたって、ササポートがあると良かった半面、当事者側も受付でボランティア必要などと主張してほしかった。インクルーシブの視点、特に当事者の声に気づかされることが多く、全体的に和やかで楽しい大会でした。参加できて満足です。お疲れ様でした。
- 地域性が良く出た、良い大会だと思いましたが、いろいろとやりたいことが盛りだくさんすぎて、そ

れぞれ時間が足りなくて残念でした。もっとプログラムは絞った方が良かったと感じた。

- 北陸の地での開催に意義があると感じた。参加者・スタッフの雰囲気、大会・懇親会も含めて素晴らしいと思いました。
- 毎回学びのある会で楽しみです
- 満席に近くなると空いている席が探しにくく、もう少しゆとりのある会場、もしくは一列 4 席ぐらいにして座りやすくしても良かったかなと思います。
- 来年も金沢で開催してほしいです。とみんなが言っていました。理由は、コンパクトで参加しやすい場所であること。広すぎても参加しづらいからです。